



令和元年10月19日

心きら研新聞

社会福祉法人慈宝会心きらきら児童デイサービス
第1号



心きらきら育ち研究会とは

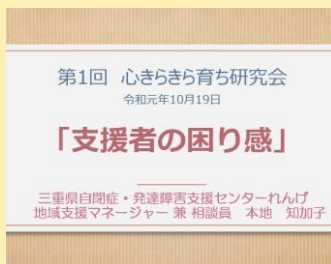
発達障がいのお子さんの生まれてから自立・社会参加までの育ちを支援する支援者のための研究会です（奇数月第3土曜日実施）。

私たち支援者は、お子さんの個々の発達の状態や障がい特性に応じて、今の困り事の解決と、将来の自立と社会参加を目指して支援をしています。その過程で支援者自身の困り感を共に共有しながら解決していくことを目的に、この研究会を立ち上げました。

発達障がいのお子さんやそのご家族を支える支援者が、心豊かに支援するための拠り所になればと考えています。

第1回心きら研について

令和元年10月19日、三重県自閉症・発達障害支援センターれんげの本地知加子さん（地域支援マネージャー兼相談員）に、「支援者の困り感」というテーマで、話題提供をしてもらいました。



支援者の困り感

本地さんの話題提供の後に、30名ほどの参加者が、それぞれの困り感について意見交換を行いました。支援者としての経験年数によっても困り感が異なりますが、現在の課題を共有することができました。

意見交換された支援者の主な困り感



- ・自立や社会参加までの途切れない支援が難しい
- ・どこに相談したり、どこにつなげばよいかわからない
- ・発達障がいかどうか、どのような障がい特性があるのか、障がい特性に合わせた支援の仕方がわからない
- ・複数の事業所を利用しているお子さんの特性や支援に関する共有ができていないため、事業所によって支援方法が異なる
- ・高校生等になって診断されるケースも増えているが、受け入れてもらえる放課後デイサービス等が少ない
- ・様々な事業所が新設されているが、それぞれの特徴や利用の仕方がわかりづらい
- ・ご家族の障がい受容が困難なケースなど、家族支援が難しい
- ・園や学校、事業所、医療機関等の連携支援体制を構築することが難しい



心きらきら児童デイサービス

当事業所は、宝積クリニックが監修して平成18年に設立された施設です。万葉のときから現代まで、いつの世にも子どもは宝です。一人ひとりのお子さんの状態に合わせた療育メニューを作成し、個別療育等を実施しています。下之庄と中川に施設があります。

次回の心きら研

令和元年12月21日（土）
10:00～12:00
「亀山市の0才～18才までの途切れない支援について」

お申し込み・お問い合わせ先

心きらきら中川
児童デイサービス事業所
三重県松阪市嬉野野田町143
TEL:0598-31-3985